

戸部の一福弁財天尊

昭和四二年に小袋谷地区の住居表示が変更され、それまでであった八反目、谷耕地、砂押、鶴舞田、戸部の五つの字が廃止されました。その中の一つ、柏尾川附近の戸部と言われていた地域にある田園踏切を渡りJR横須賀線の大船架道橋隧道をくぐると、いま左は小袋谷一丁目ですが、右は大船一丁目となっています。

大船一丁目になった県道と梅田川にはさまれた隧道のそばの狭い所に、「一福弁財天尊」と彫られた額を鳥居に掲げている、気がつかないで通り過ぎてしまいそうな小さな社が目立たずひっそりとあります。世話をしている富士見町内会の役員の方に神社の由来をお聞きしたら、

「昔、田園踏切や隧道であまりにも交通事故が多かったので、近隣の方たちが集って話し合い交通安全祈願のために神社を設けることとなり、その頃柏尾川沿いにあった芸者街にいたと言われている美人をモデルに弁財天像を山ノ内にいた彫刻家に板石に描いてもらい、それを社に安置して祀った。」と伝え聞いているそうです。なるほど、板石にはとても美人の弁財天像が彫られています。いまは交通安全への祈願が実ったのか、地元の方たちの熱意と尽力により田園踏切や大船架道橋隧道に歩行者と自転車の専用路が設けられています。